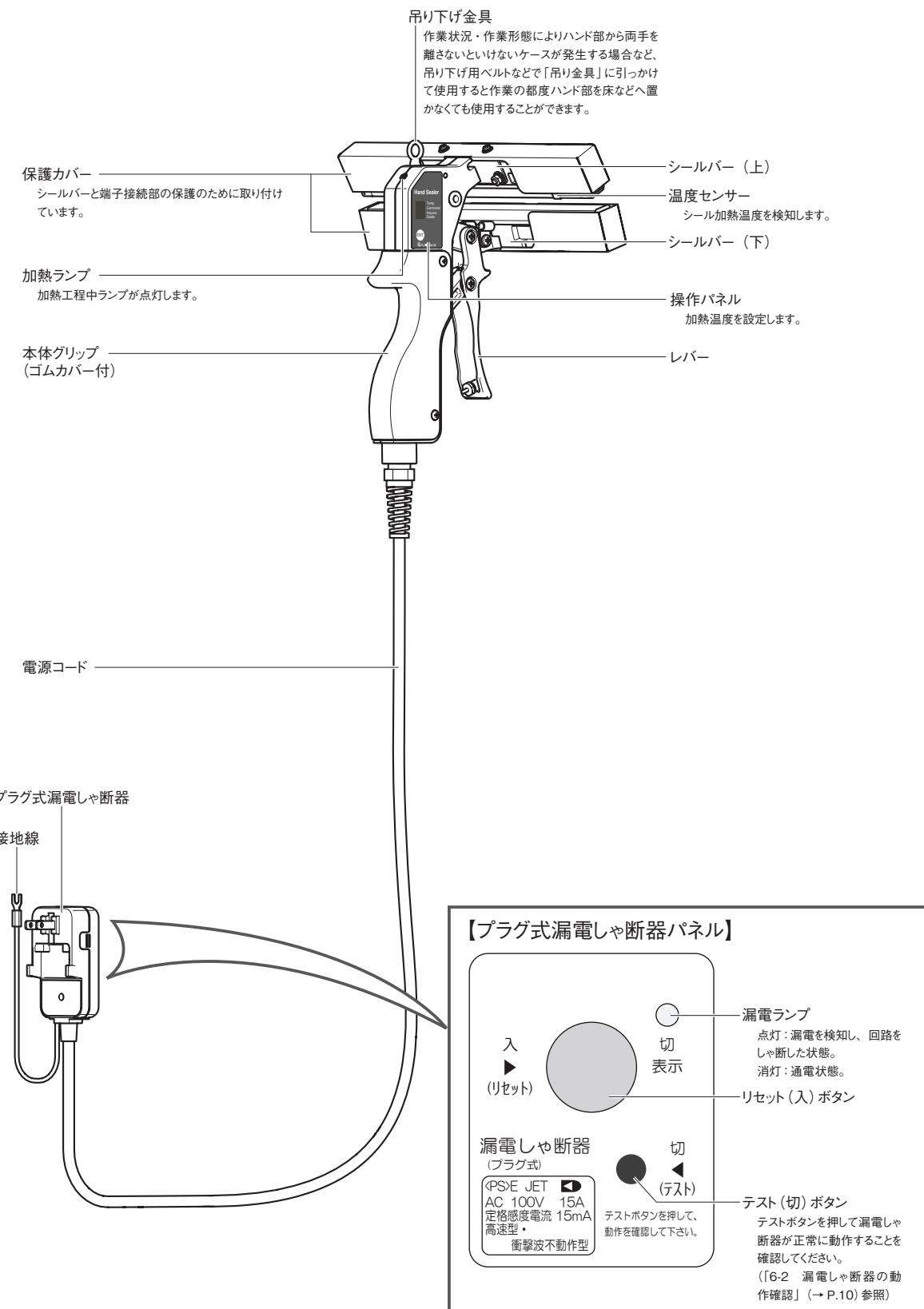


5 各部の名称とはたらき



6 正しい使い方

この製品を使用する時は以下の「正しい使い方」をよくお読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

6-1 電源コードの接続

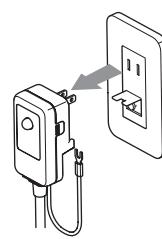
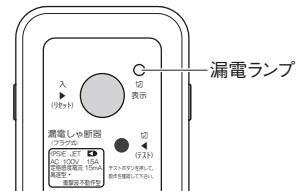
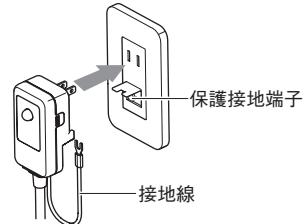
電源コードの電源プラグを「1 仕様」(→ P.5)に掲載している電圧・電力がとれるコンセントに確実に根元まで差し込んでください。電源プラグを差し込んだら、漏電しや断器の漏電ランプが消灯していることを確認してください。

また電源プラグから出ている黄／緑色の接地線を必ずコンセントの保護接地端子に接続してください。

△ 注意 感電や機器の損傷を防ぐため、必ず保護接地をしてください。

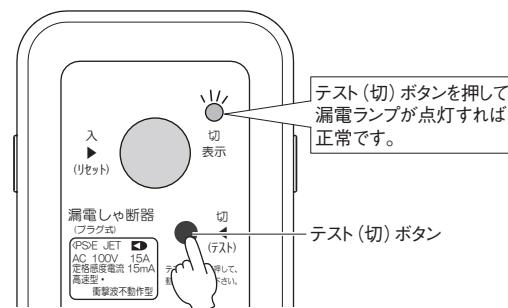
電源プラグをコンセントに差し込むと操作パネルのディスプレイが表示されます。

作業が終了したら、電源プラグをコンセントから抜いてください。



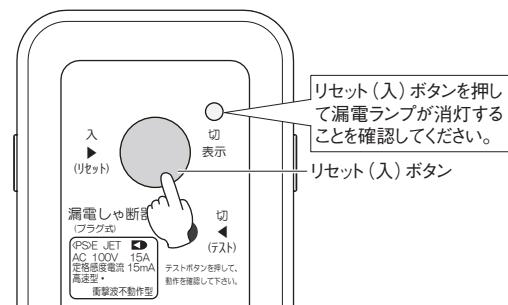
6-2 漏電しや断器の動作確認

1 漏電しや断器のテスト(切)ボタンを押して、漏電ランプが点灯することを確認してください。



2 リセット(入)ボタンを押して、漏電ランプが消灯することを確認してください。

△ 警告 漏電しや断器のテスト(切)ボタンを押しても、漏電ランプが点灯しない場合は、漏電しや断器の故障が考えられますので、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

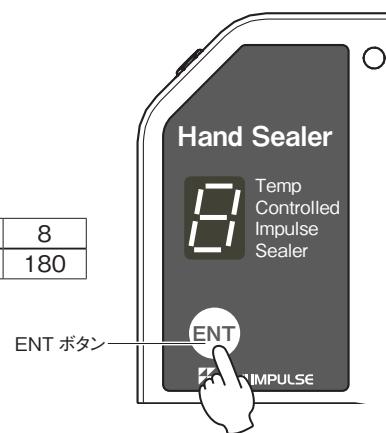


6-3 加熱温度の設定

本体右側にある操作パネルで加熱温度を設定します。
 ENTボタンを押すごとに数値が1ずつ増えます。設定したい設定NoまでENTボタンを押してください。
 設定Noは8段階で110°C～180°Cまでの加熱温度設定ができます。

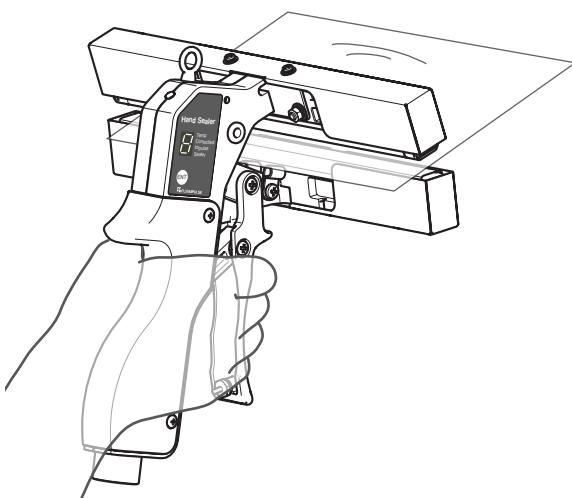
| 設定No. | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 加熱温度 [°C] | 110 | 120 | 130 | 140 | 150 | 160 | 170 | 180 |

- ・使用される袋(フィルム)の材質により適切な溶融温度は異なります。
- ・シールができる最低の温度に設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えます。

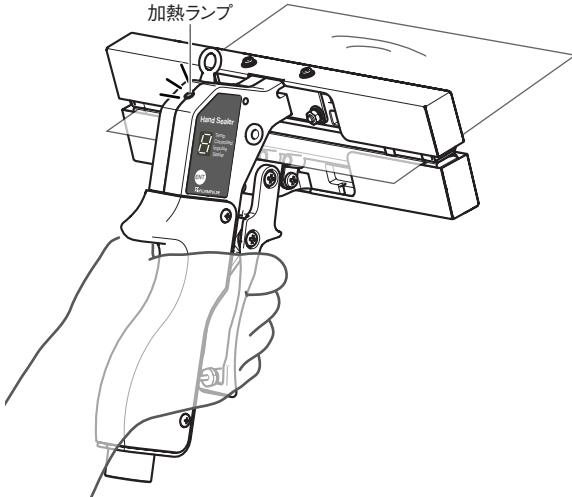


6-4 レバーを握りシールを行う

- 1 シール部に袋(フィルム)をセットします。



- 2 本体のレバーを引き(握ります)。レバーを引き(握ります)と本体部の加熱ランプが点灯します。



- 3 設定加熱温度に到達すると本体部の加熱ランプが消灯し、ブザー音が鳴りますので、レバーを引く(握る)のを終了し、シール部を開口して袋(フィルム)を取り出してください。

